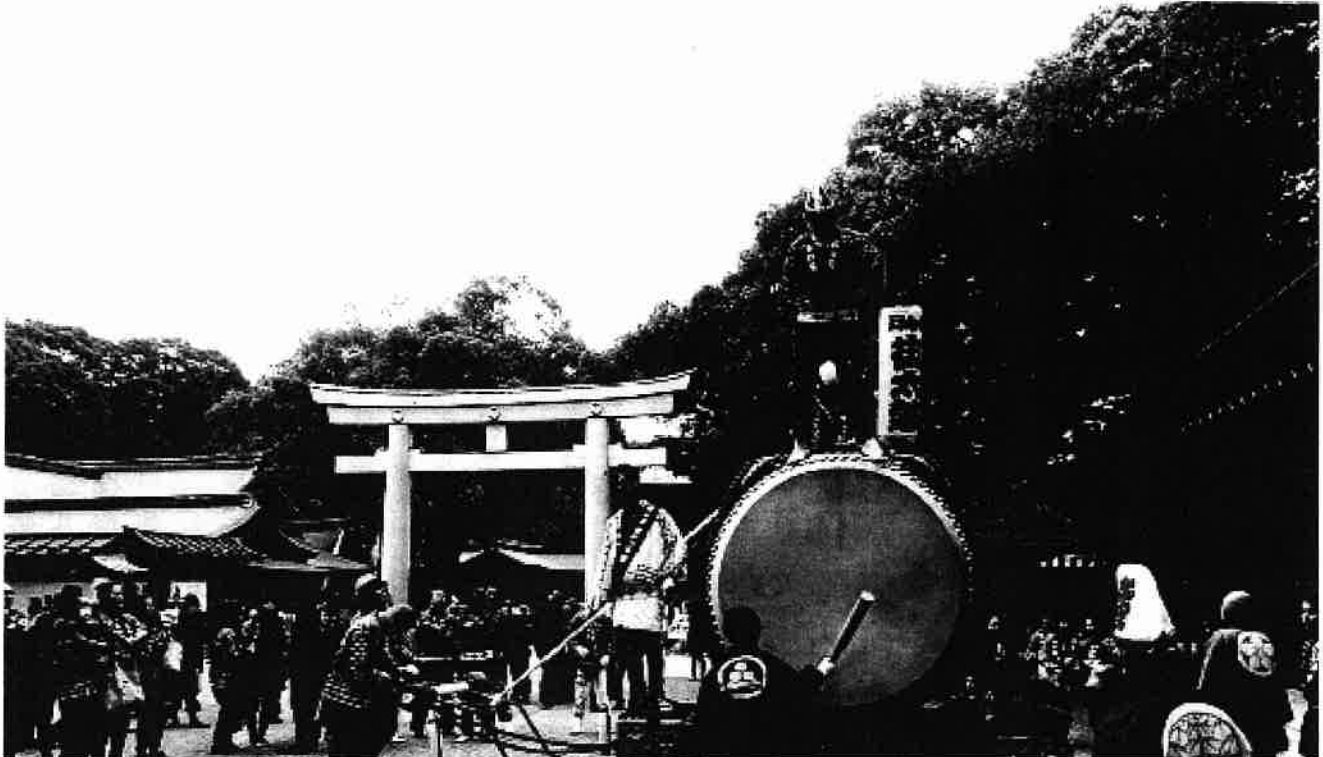


発行責任者 東京都立向丘高等学校同窓会
 会長代行 杉浦 重治
 編集 会報委員会
 事務局 〒113-0023
 文京区向丘1-11-18 向丘高校内
 TEL 03-3811-2022
 FAX 03-3812-4055



建国の日を祝う明治神宮 名誉顧問 小川力洋氏 撮影

同窓会からのお知らせ

①同窓会からのお知らせ

令和3年(2021年)8月19日、同窓会会長宮久保渡氏が肝臓がんのため享年70歳にて逝去されました。ご本人から生前腫瘍があることを伺ってはおりましたが、コロナ禍で役員会も控えている中、これほど重篤な状態であるとは役員も知らずにおり、大変残念な思いです。ここに謹んで宮久保会長のご冥福をお祈り致します。

総会において新会長を選出するまでの間は、本会会則第4条2項に則り副会長の杉浦重治氏(昭和40年卒)に会長代行を務めていただくことをご報告致します。

②同窓会総会 令和4年4月24日(日)

久々の母校をぜひご訪問ください。
 場所：向丘高等学校6階多目的ホール
 受付：13:30～
 開始：14:00～(会務・会計等の報告・審議)

向丘高等学校吹奏楽部による記念演奏会

15:00～15:30(OBの皆さまは後輩たちの演奏をぜひご鑑賞ください)

会費：無料

但し上記の行事は、もしも新型コロナウイルスまん延防止措置及び緊急事態宣言が発令された場合は、中止致します。最新情報はホームページでご確認下さい。

③学校訪問(ホームカミングデー)

本年度は未定

総合問合せ先

〒170-0003 豊島区駒込1-1-7-201

東京都向丘高等学校同窓会

会長代行 杉浦 重治

TEL 03-3946-7356

メール s-sugi@sugiura-tax.jp

ホームページ 東京都立向丘高等学校同窓会

一 挨拶

会長代行にあたって



同窓会副会長
杉浦 重治

市大会、平成三十年長野県松本市大会、平成三十一年東京八王子市高尾大会と、それぞれの地域に在住するOBの方々との交流・親睦を図ってきました。

長年にわたり同窓会を支えて頂き感謝を申し上げますとともにご冥福を祈ります。

コロナ禍、緊急事態宣言等により役員会・総会の会場確保が困難なため会議ができず、会報の発行が遅れてしまいましたことをお詫び申し上げます。

会則により副会長の私が会長代行として会務を引き継いでまいりますが、今後も課題となっている、役員と会員・会員同士の交流、幹事会体制の整備、同窓会・同期会などの会員への十分な情報発信等の改善に努めて行きたいと考えています。

また、母校に於かれましても、校長先生をはじめ先生方にとって大変ご苦労の多い状況下にあるかと思われまます。同窓会としても母校及び在校生への応援活動をして行きたいと思えます。

何分不慣れで行き届かないことが多々あるかと思いますが、会員の皆様のお知恵・ご協力を頂き会務を進めてまいりたいと思っておりますので宜しくお願いいたします。

同窓会「やよい」に寄せて



校長
瀧本 秀人



都立向丘高等学校同窓会員のみなさま、日頃より母校へのご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。この度、向丘高等学校同窓会報「やよい」に初めて寄稿させていただきます。

私は、令和二年四月一日付で、前校長の加藤孝行先生の後任として着任しました校長の瀧本秀人と申し上げます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今年度は学校も新型コロナウイルス感染症防止対策に追われる日々でした。四月六日の一学期始業式は体育館に全校生徒を集めることが許されず、各教室へ動画を配信する形で行了きました。次の日に控えた入学式は東京都教育委員会から前日に中止が発表されました。演壇には花が飾られ、紅白幕もしっかり準備された後

の通知でした。今年の一年生の担任団には、人生初の担任となる三名の教員がいます。入学式の呼名に緊張しながらも、準備していたのに残念なこととなりました。その後、一年生に会えたのは五月二十九日を持たなければなりませんでした。

生徒が登校できなかった四月、五月。向丘高校の先生方は様々な形で生徒へのアプローチを試みてくれたかったです。校長として、大変ありがたかったです。一学年は、「担任の顔も分からないで二ヵ月も過ごさせない。」と、担任紹介の動画を YouTube にアップロードして新入生に自己紹介を行いました。また、校内施設の紹介動画も作りました。二、三年生に対してはオンライン授業に早くから取り組みました。二学年は学年全員で運動不足にならないようにと、体育の授業にも取り組みました。三学年担任団はクラス生徒の進路を把握するため、オンラインでホームルームや面談を行いました。

このように、向丘高校では、生徒も教員も遅しく、新型コロナウイルスの下であっても、教育活動を進めて行きました。

二学期に入り、中学三年生への学校説明会や、学校見学も、新型コロナウイルス感染症防止の対策

を行いながら進めなければなりません。高校の募集対策は学校の存続に大きな影響を及ぼします。感染防止の観点から、人数を制限した形で行うしかありませんでした。ホームページから申込を受け付ける形を取りましたが、募集をかけるたびにすぐに満員御礼となりました。諸先輩方が育んできた向丘の伝統のお陰だと感謝いたします。副校長先生の発案で週二回の放課後の学校見学も行い、盛況でした。申込ができないという声に対しては、向丘の YouTube チャンネルを作成し、多くの動画で学校紹介を行いました。

十一月に入り、そういった向丘の ICT 等に対する取組をテレビで取り上げたいと取材の申込みがフジテレビからあり、十一月二十三日の夕方「it」という報道番組で向丘の教育活動が紹介されました。同窓会のみならずの中にはご覧になった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。更に、大晦日には東京 MXTV の一年を振り返る報道特集番組でも向丘高校の教育活動が紹介されました。

テレビで紹介されたから、どうってことではないのです。紹介内容は、向丘の教員が単純に生徒としっかり繋がっていたい。みんなの学校だよ。

というところから始まっているほんの日常の風景なのです。そこが、嬉しいのです。誇らしいのです。

諸先輩方に負けない向丘高校でありたいと思います。同窓生のみならずには、是非向丘の応援をお願いします。

「自学の向こうに希望の丘がある」「向丘は止まらない。」
合い言葉です。

春に思う



副校長

石井 久美子

向丘高校同窓会の皆様、日頃より大変お世話になっております。

本校に着任した一昨年は、新しい職場で戸惑うことも多く、あっという間に過ぎたような気がします。そして、昨年度は瀧本秀人校長のもと、このコロナ禍で、生徒のモチベーションを維持しながらいかに教育活動を円滑に進めるかを考え、そして先生方は様々なことに挑戦し工夫を凝らして授業をしてきました。そのような状況でも

向丘高校の先生方は生徒が安心して学習し、将来に向けた大きな目標を達成できるように環境を整えるため一丸となって教育活動に取り組んだ一年でした。

しかし、社会全体が先行きの見えない不安に包まれたそんな中でも桜は咲き、東の間、私たちの心を癒してくれました。そして、散り始めた桜を見ながら思い出したことがあります。五年程前、元奈良国立博物館学芸部長で現帝塚山大学教授、西山敦先生の講演を聴く機会に恵まれました。東大寺をはじめとしたお寺や宝物と人との関わりのお話の中で、最も印象に残っているのが正倉院の宝物に関するものです。奈良での正倉院展が始まったのは昭和二十一年、敗戦の翌年のことです。戦時中、空襲を恐れ、宝物はコンクリートで屋根を補強した帝室博物館（現在の奈良国立博物館）の蔵に移されました。幸いにも宝物は難を逃れました。終戦後校倉に戻ることにになりました。その時、地元から嘆願書が出されたのです。折角博物館まで来ているのだから、博物館で展示してから戻してほしいと。それまで正倉院の宝物は特別な人しか見ることができなかったからです。戦後

間もない混乱したその時期にいったい何人が見に来るのだから、という意見もありましたが、その願いは実現します。そして昭和二十一年十月、正倉院特別展覧会が始まります。それは奈良で開かれる、最初で最後の正倉院展になるはずでした。しかし、戦後間もないその時期に、信じられないほど多くの人々が訪れて「生きる力がわいた。」と口々に語ったのです。敗戦ですべてを失った日本。打ちひしがれた人々に正倉院の宝物は生きる力を与えたのです。聖武天皇の后であった光明皇后が、天皇の遺品を目にすると思ひみで崩れ砕けてしまうという理由で、そのすべてを大仏に献納したのが正倉院の宝物です。それが、千年の時を超えて、全てを無くした人々に生きる力を与えたのです。そして、正倉院展は現在も行われています。

私たちは、巨大地震や台風をはじめとする自然災害に毎年苦しめられ、そして今度はコロナウイルスという見えない敵との長い戦いが続いています。でも、この正倉院展の話を思い出し、私たちみんながこの大変な時期を乗り越えるための心の支えになる、何かを見つけられたらいいなと思うようになったのです。

コロナと学校生活

P T A 会長

浜野 江里

令和二年度向丘高校のP T A会長を務めさせていただいております、浜野江里と申します。日頃より同窓会の皆様には、生徒へのご支援をはじめP T A活動にも多大なるご協力をいただき、大変感謝しております。有難うございます。

さて、本年度は、誰も想像しなかった、新型コロナウイルス感染症に悩まされる幕開けとなり、その猛威はまだ衰えず「耐える」日々が続いております。

子どもたちは新学期早々長期休校となり、また毎年当たり前のように行われていた行事も一切開催できず、通常の学校生活を送れない不安やストレスで心を痛めたと思います。この状態がしばらく続くと思いますが、この歴史に残る困難を乗り越えることが、将来への大きな成長につながるかと信じております。P T Aとしましては、教職員・保護者の皆様と力をあわせ、「様々な変化」に対応しながら、引き続き子どもたちを支援していきたいと思っております。

今年の総会は異例の書面議決とな

りましたが、教職員・保護者の皆様のご協力により無事終えることができました。この状況下で役員を引き受けて下さった皆様にも感謝しております。毎年同窓会の皆様のご協力をいただいております活動の一つである向陵祭も中止となり、お写真を拝見させていただきながら、貴重なお話を伺う機会を持てなかったこと、とても残念に思っております。来年以降開催の際には、皆様にご協力を賜るかと思っておりますがどうぞよろしくお願いたします。P T A活動が思うようにできず、役員も困惑の一年となりました。しかし、二度と経験することはないのであろうこの困難を受け、子ども達同様、私達保護者も成長できたのではないかと思います。来年度以降、この状況下でのように活動していくか、今年の経験を活かし、また同窓会の皆様のご意見も賜りながら『新しいスタイル』を考えていきたいと思います。

東京都公立高等学校P T A連合会の会議も同様に中止になるものも多かったのですが、十二月にはZoomで全都会長会が開催され、他校の状況をお伺いできるいい機会をいただきました。「P T A役員は決定したものの、一度も集まれていない」「状況をみながら定期的に会議を行

っている」「WEBでの会議を開催している」「WEB会議をしたいが全員の環境が整わないため、開催が難しい」など各校様々でしたが、工夫をして、学校・子ども達のために何かしたいという思いは皆同じでした。

今年開催予定でした全国高等学校P T A連合会大会島根大会は中止となったため、来年度改めて開催する予定です。事務局ではコロナ対策を考え、例年とは違った開催方法を考えてくださっています。私は二〇一九年の京都大会に参加させていただきましたが、基調講演では心打たれるお話を伺い、とても感動したのを覚えております。今年は残念でしたが、今後の報告を楽しみにしております。

まだ安心できない状況は続きますが、コロナが早期に収束し、学校生活も通常通りに、そして皆様に穏やかな幸多き一年となりますことを祈念いたしております。同窓会の皆様には引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



2020年を振り返って



元P T A会長

山内 浩恵

過ぎ来し方を思い返すと、どんなことにも意味があったと感じます。その時は悲しみに沈んだり不本意な方向にしか進めなかったりしても、それからずいぶん経って「あのことがあったから今の自分がある。」と思ったり「ああ、これでよかったんだな」と思ったり。そして、思い出しても赤面してしまうようなことや愚かな失敗でも、やってしまった過去は消せないけれど意味のある事のできるのには自分次第なのだということも。

早いもので娘が向丘高校を卒業し、一年になります。それは、新型コロナウイルスの流行と共にありました。令和元年度の卒業式は生徒と教員のみで行われ、私たち保護者は我が子の晴れの巣立ちをこの目で見ることはできませんでした。あの時は私だけでなく多くの人が「きっと、まもなく落ち着いて、また当たり前の日常が戻ってくる。」と思っていたのではないのでしょうか。卒業を祝う会も歓送迎会も行うことができません、卒

業の実感が無いままに新年度を迎えました。大学の入学式は中止。やっと始まった授業もリモートのため、入試以来大学構内に足を運んだのはずっと後になってからのことでした。この一年間は数えるほどしか大学には行っていません。きっと娘だけでなく、同級生は皆、思い描いていたような大学生活とは程遠い毎日だったことでしょう。まだまだ先行きが不透明な中ですが、時間だけは誰にも公平に過ぎていきます。このコロナ禍では、あらゆる年代に想定外を生きていく力を求められました。今までは長年蓄積してきた経験値による想定内の中で生きてきましたが、今は新しい経験をしながら激しい変化の中で、知識や知恵を得なければならなくなりました。毎日がその連続です。正解が誰にもわからないことが山積しているのですから、間違えたらやり直しをするしかありませんが、経験によって獲得した知見は確かな力になるものです。

私のこの一年はというと、会食が激減し、自宅ではパソコンやテレビの前で過ごすことが圧倒的に多くなりました。長い時間を過ごすことになったダイニングテーブルの横に、平成三十一年源氣丸で開催された同窓会の集合写真があります。その隣

には向陵祭で生徒がチェキで撮ってくれた写真もあります。同窓会の皆様や先生方、そして役員の皆様はお元氣かしらと懐かしく思ったりしています。PTA活動で学校に伺っていた当時、四ツ谷駅で南北線に乗り換えていました。今年度はほとんど学校に伺う機会がなかったのですが、四ツ谷駅に降り立つとなんとも言えない懐かしさが込み上げてきます。あの時の風の匂いや空の色、校門の桜吹雪、生徒たちの歓声、誰もいない校舎。こんなにも鮮やかに甦るものなのかと驚きます。役員をやりながら、私自身が青春時代に戻ったような三年間を過ごさせてもらった気がするのです。仕事や立場や年齢にとらわれない、ただ「生徒のために」あった関係は、至極尊い時間でした。思い出というものは、何かの折に自分を支えてくれるものです。きっと今の大変な経験も、乗り越えた時には必ず力に変わっていくと信じます。

PTAの顧問という役割もまもなく終了します。ちょっとセンチメンタルな気持ちもよぎりますが、この縁を宝物のひとつとしてこれからも大切にしていきたいと思えます。



追悼



故宮久保渡会長

贈言

名譽 顧問

小川 力洋

前会長小川力洋は会報第二十二号にて申し上げましたが創立四十、五十、六十周年記念を体験させて頂き、在任二十四年でした。平成三十年に七十周年を迎えるに当り、円満退任し、宮久保渡氏に平成二十三年四月二十九日総会で推薦し、満場一致で会長に承認されました。

行政書士として活躍の日々で、ご多忙の様子でしたが、現役時代からテニスを行い以後も母校に通いテニスを愛していました。他の部との交流もあり仲間が多く、行動面において申し分ない適任者でした。

母校の学校運営連絡協議会協議委員として、学校側との連携もしっかりとれておりました。その証として卒業生殆どが同窓会加入へのご理解を頂いています。

当会事業においても、しっかりとしたビジョンを持ち企画、事業遂行に当たってくれておりました。それには総会に参加されずとも会報へ誌上報告を行っています。又、地方へも

出て行くとうとして、全国に向けての地方大会と称して北海道、大阪大会はじめ近年では千葉、群馬、山梨、栃木、埼玉、長野県等へ受け継いで頂いていました。

永い間酒類が好物で会合時にもしばしば欠かせない様でした。何度か検査入院を繰り返していた様でしたが肝臓が冒され残念ながら令和三年八月十九日で逝去されました。在任十年間でした。

今後はお示しの様に杉浦重治副会長が、当面会長代行することになり、不滅の同窓会として各活動に対しご支援をお願い申し上げます。

宮久保渡会長を偲んで

一日は好日

昭和四十五年卒

中村 恵太郎

宮久保さんほど向丘を愛した同級生はいないでしょう。会長として高校と同窓会の発展にご尽力されました。私は同窓会に出席する度にその熱意に引き込まれ、ついには役員を引き受けました。その後も強いリーダーシップと情熱に信念を感じてきました。また、人懐っこい大きな目で周囲を温かく包み込む優しい人柄が魅力的でした。まだまだやりたいことが沢山あり、道半ばでさぞかし無念だったと思います。今は少しでも会長の思いが叶えられるよう

同窓会を盛り上げていきたいと思
います。

彼との思い出は、令和元年の「や
よい全国大会・高尾大会」です。よ
り多くの参加者を募り、高尾山ハイ
キングが大盛会のうちに開催されま
した。私は彼が登れるか心配でした
が、汗だくになり二本のストックを
使い見事に登り切った時は志の強さ
を覚えました。私は同行しながら同
窓会やプライベートなこと等、様々
な話を聞けたことが良い思い出にな
っています。下山後の懇親会には同
窓生の奥様も加わり、夫婦仲睦まじ
い姿が今でも目に浮かんできます。

宮久保会長、本当にありがとうございます
でした。ご冥福をお祈りいたし
ます。

私は、古希を迎え母の介護に関わ
る時間が多くなり、新たな気づきや
学びに出会います。例えば、日々の
生活の大切さです。介護は大変です。
何度言っても分かってくれない時や
私のペースで出来ない時は、つきき
つい口調になったり愚痴をこぼし
たりします。すると母は敏感に察知し
て淋しそうに「悪いね、迷惑をかけ
て」とつぶやきます。私は「また言
ってしまった」と、己の未熟さを反
省します。他方母の立場になって奇
り添い優しく接すると、母は気分が
良くなり私も嬉しくなります。まる
で自分を映し出す鏡のようです。一

日一日を大切に生きていく母の姿を
見て、まだまだ教わる事が多く、
母に感謝しています。



同窓会・クワズ会より

向丘五十五年会

昭和五十五年度卒

浅野 雄一

今日は待ちに待った私たち「向丘五
十五年会」の「還暦を自分たちで祝っ
ちゃえ会」だ。会場には徐々に、みん
なが集まってきた。「やあ、久しぶり」
「元気か?」「卒業以来だなあ」と再会
を喜び合う会話が多くなってきた。や
はり、みんなに会えるのは嬉しい。
予約の時は、広すぎるかなと思った
が、この会場でも少し窮屈なようだ。
大勢が集まってくれた。

昭和五十五年の卒業生は「向丘五千
五年会」と称して、日帰り旅行、暑気
払い、忘年会などを開催して親睦を深
めている。特に忘年会は卒業以来続け
ており、今では家族の誕生日の如く恒
例のイベントになっている。

「向丘五十五年会」では不思議なこ
とに久しぶりの再会でも、まるで春休

み明けのように「休みどうしていた」
という感じで、直ぐに打ち解けてし
まう。時間が瞬間移動して、向丘高
校の生徒に戻ってしまうのだ。

僅か三年間、高校生活を一緒に過
ごしただけに、なかには在学中
に話をしたことが、なかった人もい
るのに、今では大切な友人になって
いる。とても不思議なことで驚くば
かりだ。友とは学生の時に種をま
いて、卒業してから毎年水をやり栄養
を与えて育てていくものなのかもし
れない。

昨年は、東京オリンピックでさえ
も延期になってしまっただけで
に翻弄された。「向丘五十五年会」
も一切の活動ができなかった。そこ
で、会うことができないのなら、せ
めてビデオで近況報告をし合おう
と、メッセージを募り「向丘五十五
年会メッセージビデオ」として、年
末に配信した。

メッセージは、お互いを励ましあ
う暖かい言葉で溢れていた。みんな
仲間の存在を暖かく大切に思ってい
る証拠ビデオになってしまった。良
い仲間にも恵まれたなとつくづく実感
した。

「さあ、はじめろぞ」「みんな集合
して」久しぶりの「向丘五十五年会」は
「還暦を自分たちで祝っちゃえ会」
になった。いよいよ始まる。ここに
至るまで大変だったが今日は楽しむ
ぞー!というところで、目が覚めた。

今年「向丘五十五年会」は、還暦

の年です。いまだに状況は不明瞭で、
「還暦を自分たちで祝っちゃえ会」は
未定ですが、良き時になりましたら
必ず開催したいと思っています。も
しかしたら「還暦十一」を自分たちで
祝っちゃえ会」になってしまおうかも
しれませんが、必ず開催します。「向
丘五十五年会」のみんなーその際は
一緒に祝いましょー!

「向丘五十五年会」は COVID-19 にも
負けず、これからも楽しい会を続け
ていきます。こんな異常な状況の時
だからこそ、同窓生の存在をより大
きく感じます。

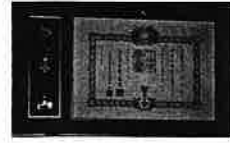
同窓生と疎遠になっておられる方
がおりましたら、同窓会の母体であ
る「やよい会」を活用してみてください。
そして、向丘高校の三年間を
共にした仲間と親睦の輪を少しずつ
でも広げてみては如何でしょうか。
「やよい会」にも是非ご参加ください。
やよい会の皆さまーこの苦境を乗
り越え、ニューノーマルに適応し、
楽しい生活を取り戻しましょう!



「向丘五十五年会」世話人会
(二〇二〇年二月六日)
これ以降イベント開催ができておりません。

会員のひろば

私、叙勲を授与されました



八回生（昭和三十一年卒）

川端 春生（旧姓三橋）

二〇二〇年（令和二年）十一月三日、瑞寶小綬章という叙勲をいただきました。向丘高校に入学してから、友達に誘われてバレーボール部に入部しました。その後、バレーボールが、私の人生の一部分となってしまいました。体育科の先生から強く指導されて、東京教育大学体育学部に入學しました。きっと運がよかったのでしよう。

昭和三十六年に大学を卒業し、高校の体育教師になりました。女子のバレーボール部の顧問として四十八歳に教頭になるまで授業はもちろん、生活指導部長とか新設高校の開校要員などを経ながら真摯に務めました。校長になって着任した普通高校をコース制の学校に改編しました。福祉デザイン美術、外国語の三コースの

ある学校です。福祉を扱う学校として、いろいろなニュースに取り扱われ、生徒個々の考え方が変わってきました。学校が変わりました。

その後、全国普通科高等学校校長会事務局長を務めた時に、総理大臣が会長の男女共同参画の推進の会に、会員として参画する機会に恵まれました。八十二歳での叙勲でも、ただただの精一杯仕事をしたことが評価されたこと、一家みんなが喜んでくれたことがとても嬉しかったです。

昭和三十四年卒

根岸 宏和

昭和三十一年（一九五六年）四月に入学し、三十四年三月の卒業です。から、六十二年も昔のことです。当時、登校時間にだけ開いた裏門まで自宅から歩いて三〜四分でした。指ヶ谷小学校までは歩いて五〜六分、伝通院前の文京三中までは徒歩二十分弱、西ヶ原にあった東京外語大までは都電と徒歩で約三十五分でした。昭和二十一年に米沢の疎開先から帰って、十条の仮住まいから通った赤羽の岩淵幼稚園には省線電車と徒歩で約一時間かかりました。会社生活でも通勤に一時間以上かかったことはない

ので、通学、通勤には恵まれていた

と言えます。

反面、校舎や社屋はいつも戦災で焼けた後の仮設とか、老朽建物でした。それが、卒業すると新校舎や講堂が出来たり、転動すると新社屋が落成したりと、建物には恵まれなかった。その代わり、先生や先輩、友達など人間関係には幼稚園から社会人になってからも頗る恵まれていたと実感しています。

実は高校入試でドツをして入ったのが向丘でした。たまたま小学校時代以来の親友も同じ挫折を味わっていましたが、九月にリベンジに成功していました。私もトライするつもりで準備をしていましたが、決断できませんでした。通学に便利で、居心地も良かったし、下校後に予備校に行く生活に安住してしまっただけです。

向丘時代も人間関係には恵まれた三年間でした。人気の担任は大学卒業はやはや、数学の坊ちゃん教師で、正月には皆で先生のお宅に伺うのが恒例となっていました。クラスも好く纏まっています。学内バレーボール大会では優勝、修学旅行で四国金毘羅様の夜も他愛なく盛り上がりました。

学校には魅力的な女生徒も居ましたが、年頃の割には色気シャレ気には関心が無く、専ら読書とか大学受

験に気が向いていました。旺文社の全国規模の学力テストや予備校の模擬試験にチャレンジして悟ったことは、落とされない答案を作る術を磨くこと。授けてくれたのは予備校の名物先生、お陰で大学受験を無事突破し、その後アルバイトで家庭教師をした時も、この術を伝授したら、みんなお受験に通ってくれました。

日通のサラリーマン時代は、入社早々東京オリンピック輸送に関わった後、海外旅行部門で勤務、飲み気味のベテラン添乗員として世界を股にかけて飛び回る生活。会社でもJALや外国の飛行機のCAさんにも魅力的な人が沢山居ましたが、岡惚れしたこともなく仕事一途で頑張っていたら三十歳になってしまった。そんな時、見合いの話が持ち上がった。紹介してくれたのは小学校時代と向丘高校でも一緒になった友人で、母親同士も懇意だったことから、あれよあれよという間に結婚式となりました。札幌、秋田、北京などでの転勤生活を経て定年退職、今年には金婚式です。縁は異なるもの向丘は味な処、人生至る所青山あり。森繁が唄ってました。呑んで騒いで、丘に登れば、春の白山に 太陽は昇る。時節柄、皆様のご健勝と益々のご発展を祈念いたします。

コロナ禍の日々



昭和四十一年卒
尾道 郁代
(旧姓 大橋)

二〇二〇年二月頃から新型コロナウイルスの感染がはじまり、三月から学校が休校になりました。卒業式や入学式等も最大限の縮小で行うことになりました。従って同窓会も中止となりました。大勢の人が集まることを避けるような生活を強いられ過ぎてしています。

親しい人とも会うこともできず、子や孫とも行き来ができない日々的一年八ヶ月が過ぎてます。人と人との繋がりが大事なのにそれが出来ない生活は精神的な不安をかかえている人も少なくないと思います。それに加え外食の制限、酒類禁止、生活をする上での楽しみを全部抑えられて過ごすこと、ただただ辛抱の日々です。

しかし、二回目のワクチン接種を終了した人の割合が増えて来て、感染の減少になりつつあります。このまま感染が治まって来ることを期待している今日のごとです。

コロナ禍で教えられる

昭和四十七年卒

佐々木 郁子 (旧姓 遠野)

昨年の初め、一人でベトナムツアーに参加しました。ホイアンのランタン祭りを一度見てみたかったので。でもちょうどコロナが話題に上り始めた頃で、キャンセルになるのではないかと思いつつもツアー会社に催行するのかわ確認したのですが、ツアー会社は催行するというばかりで、それならキャンセルしてはキャンセル料を払わなくてはならないのでケチな私は不安を抱えながらも参加しました。

成田に行って驚きました。こんな成田は初めてというほど空いていたのです。改めて事態の深刻さを認識したのですが、既に成田に来ていたこともあり予定通り出発しました。到着したベトナムでも驚かされました。どの見学地でも中国人が殆どいなかったのです。

ホイアンのランタン祭りは期待以上の美しさで、ベトナム料理はどこで食べてもおいしく、同じく一人参加していた人たちとは波長が合い、素晴らしい思い出を作ることができました。でも帰国して一週間後緊急

事態宣言が出され、自分はあやうく帰国できなくなるところだったと知りました。キャンセル料を払っても行くのをやめるのが良識ある大人のすることだったと大いに反省しました。

同じ頃、同窓会でも街歩きや総会の準備などをしていたのですが、一年以上たった今もコロナは収束していません。先の事はわからないものです。年を取ると十年スパンでは先の事を考えられないと思ってしまうが、十年どころか一年先でも読めないものだとなりました。タイムリーなことに感染症を題材としたアメリカ映画を見たところだったので、道行く人が皆マスクをしているのを見ると、今でもその映画が続いているような錯覚をしてみました。

年齢的に重症化しやすい同窓生の皆様はお元気でいらっしゃるでしょうか。息苦しいマスクをこれからまだまだ続けなくてはなりません。コロナ禍で良いことなんかひとつもなくなってしまうと悲しい思いでいますが、冷静に考えてみると少ないけれども良いことも見つかりました。以下に列挙します。

・美術館が予約制になってゆっくりと好きな絵画を鑑賞できるようになった。

・オンラインでもかなりいろいろな事ができるとわかった。
・家にいる時間が増えて自分のこれまでの生き方や暮らし方を反省することができた。

・不要なものを捨てる決意ができた。
・マスクをしていると容姿は問題ではなくるとわかった。

・死を身近に感じることで、何が一番大切なのかを知ることができた。
・友達と語り合いながら食事をする事ができるのは最高の幸せだとわかった。

どんな出来事にも良い悪い両面があるというのは本当ですね。良いことに目を向けて、いつかまた友達と楽しく飲食を共にできることを信じて、この苦しい時を乗り越えていきましょう、ファイト!!



寄付者・会費納入者一覧

2020年度中に寄付金・年会費をお振込頂いた方々です。(敬称略)
 尚、3,000円以上の納入は寄付者扱いとして掲載させて頂きました。
 ご協力誠にありがとうございました。有効に活用させていただきます。
 尚、記載漏れがありましたらご連絡下さい。(2021年1月末日)



寄付者名一覧

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-----------|------|-------|--------|-------|-------|----------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|----------|-----------|-------|-----------|------|------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|----------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-------|------|-----------|-------|-----------|-----------|----------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-----|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|------|-----------|-------|------------|-----------|-------|-------|----------|-----------|-------|------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|------------|-------|-----------|------|-------|-----------|----------|-----------|----------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|----------|------|-----------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|
| 永田 正博 | 脇田 知子(村山) | 村木 豊彦 | ◆昭34年 | 諏訪 依子(田中) | ◆昭33年 | 辻 章皓 | 佐藤 元是 | 津坂 敬子(石神) | 浜田 和男 | ◆昭32年 | 堀江 幸子 | 三田 昌男 | 木村 隆 | 増子 明美(若生) | 山本 越子(福永) | 高尾 和子(杉本) | 川端 春生(三橋) | 小川 力洋 | ◆昭31年 | 荒井喜美子 | 橋田美智子(山口) | 星 直正 | ◆昭29年 | 早船 セツ子 | 霜田 恒彰 | ◆昭28年 | 森山 操(村松) | 象 幸子(江森) | ◆昭27年 | 岸本 伸江 | ◆昭25年 | 永井 節子(小籠) | ◆昭24年 | 辻野 純晴 | 真中 幹夫 | ◆旧職員 | 壬生田紀夫(三浦) | ◆昭35年 | 五十嵐光俊 | 江藤 鉄兵 | 久保 雄南 | 能州 良彦 | 森 正樹 | 友部 佳子(立川) | ◆昭36年 | 田中 正明 | ◆昭27年 | 岩井 和子(大野) | 河野 洋子 | 浜口 宗武 | ◆昭37年 | 寺村 光司 | 山崎 政利 | 宮下紀恵子 | 宝珠山邦子(近藤) | ◆昭39年 | 柴田 芳枝 | 荒川 正 | 斎藤 昌利 | ◆昭40年 | 高橋 重雄 | 鳥飼 重和 | 井上 芳子 | 新谷 重子(小沢) | 杉浦 重治 | 小山由記子(吉田) | ◆昭41年 | 鈴木千賀子(池田) | 吉田 恵子 | 坂井 右紀 | 溝口 進一 | 尾道 郁代(大橋) | ◆昭42年 | 米谷 省吾 | 皆川 和美 | 菊池 武博 | ◆昭43年 | 鈴木 幹夫 | 湖山 均 | ◆昭45年 | 宮久保 渡 | 仙谷 剛 | 中村恵太郎 | 白井大治郎 | 山口 義朗 | ◆昭46年 | 恩村 一郎 | 笹山 幸子 | 小屋 良治 | 高野 均 | ◆昭47年 | 佐川 海道 | 武田 正敏 | 堀田 睦夫(赤沼) | 佐々木郁子(遠野) | 小林 清美(小川) | ◆昭48年 | 本多 和子(国分) | 遠藤 清孝 | 久保田郁子(加藤) | ◆昭51年 | 渡辺 陵子(木村) | ◆昭52年 | 門馬 宏子 | ◆昭55年 | 浅野 雄一 | 新井 清一 | 近藤 秀二 | 浦野 良一 | ◆昭56年 | 三原 昌幸 | 武智 弘英 | ◆昭58年 | 旗野 敏弘 | ◆昭61年 | 今井美代子(清水) | 金澤 祐 | ◆昭63年 | 目黒 利枝(菊池) | ◆平成元年 | 横山 信夫 | ◆平成5年 | 雨宮 直子 | 塩野入 毅 | ◆平成6年 | 桑原 優子 | ◆平成14年 | 小林章太郎 | ◆平成22年 | 高崎さつき | 長縄 信孝 | 三谷 一郎 | 若木 康孝 | 大島美智子(裕) | 中村 素子(河野) | ◆昭31年 | 樫村 圭子(八幡) | 磯山 彰 | 松居 晃 | 田中 澄子(小粥) | 池野 通(高橋) | 鈴木やす代(渥美) | 小林 啓子(小川) | 中矢 崇之(麻藤) | 江尻 光江(樋口) | ◆昭32年 | 小西 圭子(城) | 滝沢 都子(吉田) | ◆昭33年 | 小林 清明 | 中河 健男 | 内田 和子(阿部) | ◆昭34年 | 乙部たみ子(新名) | 森木 紘子(太田) | 鹿島 節子(富田) | 車田 亨子(日野) | 渡部 葉子(泉) | 山北 宣久 | 古林 徹 | 江守 雅美(梅田) | ◆昭35年 | 三浦みさ子(江島) | 永沢 治子(山本) | 大高 勝子(関) | 池辺 弥生(星野) | 清水 幸明 | 山本 一智(高橋) | ◆昭37年 | 渡辺 光寛 | 橋本志津子(庵原) | 福永 邦彦 | 南方 洋子(富田) | 山口 洋子(上野) | 小黒 由明 | 河原 正史 | 橋立 昭武 | 牧野 進 | 片岡 邦枝 | ◆昭38年 | 桜井 昭子(筒山) | 宮澤 博子(興津) | 大田 和子(豊田) | 谷口 昭夫 | 鎌倉 博子(橋場) | ◆昭39年 | 北田 照子(大山) | 湯浅美保子(奈良) | 藤尾 誠 | 能州 慶次 | 盛岡 治英 | 大橋いつ子(会田) | 上野美江子 | ◆昭40年 | 篠崎 美幸 | 古川 治子(加藤) | 相澤 妙子(戸川) | 橋 明 | 八葉重正子(組橋) | 秋山 浩一 | 斎藤由紀雄 | 高橋 和子(新川) | 大西 政男 | 海和 秀男 | 清水 猛 | 内田 淳子(青木) | ◆昭41年 | 青木 紀子(五十嵐) | 渡辺 恵美(高田) | 川添奈津子 | 別府 輝夫 | 原 淑子(近藤) | 加藤 治代(篠崎) | 杉山 雅之 | 井村 忠 | 熊谷久美子(日高) | 横田代志子(三谷) | ◆昭42年 | 増田 恵一 | 柳田 照良 | 高野 一義 | 鈴木 裕司 | 植原美年子(川田) | 土井ひろみ(大滝) | ◆昭43年 | 山邊 光久 | 豊野 英正 | 常盤 清人 | 中村 良憲 | 石川 明枝(石川) | 加藤 和子(大久保) | ◆昭44年 | 加藤 篤子(内藤) | 秋谷 実 | 松上 恵一 | 高館 京子(関口) | 門 和代(松谷) | 村上みな子(塚原) | 加藤 和子(堤) | ◆昭45年 | 山下 幹子(鎌田) | 梓澤 秀昭 | ◆昭59年 | 千田二仁江(樋口) | ◆平10年 | 高橋 美法 | ◆平11年 | 吉田 宗弘 | 酒井 義夫 | ◆昭47年 | 柿沼 好明 | 丹下 薫 | 長瀬 一平 | 長谷川教子(高倉) | 岸本 恒幸 | 上野美智子 | ◆昭48年 | 関口多鶴子 | 高橋 淳(高野) | 柏 英明 | 須賀 福子(牧野) | ◆昭49年 | 川島 清次 | 島津 二郎 | 辻 薫 | 今出 隆久 | 上野 一成 | 川崎すみ子(白石) | 石井徳太郎 | 高見 健二 | 高見 節子(安原) | ◆昭50年 | 奥山 房男 | ◆昭50年 | 大西 絹子(田口) | 永井すま子 | 中山 勉 | ◆昭53年 | 中沢香代子(近間) | ◆昭58年 | 山下 幹子(鎌田) | ◆平10年 | 高橋 美法 | ◆平11年 | 吉田 宗弘 |
|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-----------|------|-------|--------|-------|-------|----------|----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|----------|-----------|-------|-----------|------|------|-----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-------|----------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|-------|------|-----------|-------|-----------|-----------|----------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-----------|-----------|-----------|-------|-----------|-------|-----------|-----------|------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-----|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|------|-----------|-------|------------|-----------|-------|-------|----------|-----------|-------|------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------|------------|-------|-----------|------|-------|-----------|----------|-----------|----------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|----------|------|-----------|-------|-------|-------|-----|-------|-------|-----------|-------|-------|-----------|-------|-------|-------|-----------|-------|------|-------|-----------|-------|-----------|-------|-------|-------|-------|

会費納入者名覧



令和 2 年度分 (令和 2 年 4 月 1 日～令和 3 年 3 月 31 日)

1. 役員会 (幹事会)

令和 3 年 4 月 25 日 (日) 会計監査会

5 名参加 於源気丸

2. 総会・懇親会

令和 2 年 4 月 26 日 (日) 於源気丸→コロナ禍のため活動中止

3. 研究活動・向陵祭

令和 2 年 5 月 24 日 (日) 「都内を行く、都電とお寺巡り」→コロナ禍のため活動中止

令和 2 年 9 月 12 日 (土)～13 日 (日) 向陵祭ホームカミング→コロナ禍のため中止

4. ホームページの充実について

コロナ禍のため活動自粛

5. 会報関係

コロナ禍のため活動自粛

6. 渉外関係

コロナ禍のため活動自粛

7. 卒対関係

令和 3 年 3 月 8 日 (月) 第 70 回卒業生 312 名 (卒業生全員) に、入会記念品として個人用特注印鑑を予行日

に各組担任先生からお渡し頂けるよう母校に搬入

[決算報告] 別紙記載のとおり

《 審 議 事 項 》

[事業計画案]

令和 3 年度分 (令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

1. 総会・懇親会

令和 4 年 4 月 24 日 (日) 会報 31 号 1 頁参照

2. 研究活動

コロナ収束前につき未定

3. ホームページの充実について

ホームページを充実させるため努力致します。

- ・ 同窓生の同期会・クラス会・クラブ OB 会など多くの情報を載せ、発信します。

- ・ 既発行分の「やよい」の掲載を致します。

- ・ 卒業写真など、掲載してまいります。

4. 向陵祭参加とホームカミングデー開催の件

本年度は未定

5. 同期会・クラス会等への通信費を助成致します

- ・ 同期会開催へ 2 万円、クラス会・クラブ OB 会へ 5 千円助成致します。

報告文 (会合の集合写真等を添えて) を総合連絡先に速やかにメール、もしくは郵送して下さい。受け取り次第、代表幹事の指定口座宛へお振込み致します。

6. 各期住所録の提供

住所録については、個人情報保護を鑑み、各期の幹事 3 名による「同窓会活動以外には使用しない旨の誓約書」(自筆による住所・氏名・押印) を PDF で総合連絡先にメールして下さい。それを確認後、代表幹事又は指定幹事宛に住所録をお送り致します。

7. 広報誌の発行と発送

会員相互の意思の疎通を図るため広報誌を発行・発送致します。

会員・同期会・クラス会等の投稿を歓迎致します。

原稿締め切りは 10 月中旬。

8. 新卒業生の入会者に記念品特注印鑑セットを贈呈する。

9. 年会費・寄付金ご協力をお願い

年会費は 1 口 ¥ 1000 運営費としてご協賛をお願い致します。

年会費込み ¥ 3000 以上の送金は寄付金扱と致します。

令和 2 年度決算

| | 令和 2 年度決算 | 令和 3 年度予算 |
|-------------|------------|------------|
| 収入の部 | 金 額 | 金 額 |
| 入会金 (@8000) | 2,488,000 | 2,000,000 |
| 年会費 (含寄付金) | 703,000 | 800,000 |
| 総会懇親会費 | 0 | 100,000 |
| 全国大会費 | 0 | 0 |
| 諸会費 | 0 | 0 |
| 雑収入 | 0 | 0 |
| 前年度繰越金 | 3,258,997 | 5,848,773 |
| 収入合計 | ¥6,449,997 | ¥8,748,773 |

| | 金 額 | 金 額 |
|---------|------------|------------|
| 支出の部 | | |
| 全国大会関係費 | 0 | 150,000 |
| 交通費 | 7,000 | 100,000 |
| 通信印刷費 | 60,235 | 200,000 |
| 会議費 | 0 | 150,000 |
| 総会懇親会費 | 0 | 200,000 |
| 催物関係費 | 0 | 50,000 |
| 慶弔費 | 30,000 | 100,000 |
| 研究活動費 | 104,514 | 100,000 |
| 振興助成費 | 0 | 100,000 |
| 会報関係費 | 0 | 1,850,000 |
| 渉外費 | 0 | 50,000 |
| 開発費 | 57,458 | 300,000 |
| 生徒激励費 | 0 | 100,000 |
| 卒対費 | 140,400 | 100,000 |
| 周年準備金 | 200,000 | 200,000 |
| 雑費 | 1,617 | 10,000 |
| 支出合計 | 601,224 | 3,760,000 |
| 次年度繰越金 | 5,848,773 | 4,988,773 |
| 総合計 | ¥6,449,997 | ¥8,748,773 |
| 周年準備金 | 600,000 | |

ゆうちょ銀行 10170-1750501 口座名 やよい会
 通常貯金残高 ¥4,348,773 定期貯金残高 ¥1,500,000
 上記の通り収支報告申し上げます。
 令和 3 年 4 月 25 日

同窓会会長 宮久保 渡◎
 会計 尾道 郁代◎ 笹山 幸子◎

監査の結果誤りのないことを認めます。
 令和 3 年 4 月 25 日

監事 三田 昌男◎ 井上 芳子◎

令和3年度 総会資料

都立向丘高等学校同窓会

令和4年4月24日(日)

於向丘高等学校6階多目的ホール

《 報告事項 》

[事業報告]

平成31年度(令和元年度)分

(平成31年4月1日~令和2年3月31日)

1. 役員会(幹事会)

平成31年3月24日(日)会計報告会3名参加

於池袋レストラン ラシーヌファーム

平成31年4月7日(日)会計監査会

6名参加 於源気丸

令和元年8月25日(日)役員会

9名参加 於源気丸

令和元年12月14日(土)役員会

11名参加 於源気丸

令和2年4月11日(土)会計監査会→中止、

4/7緊急事態宣言発令の為

2. 総会・懇親会

平成31年4月21日(日)於源気丸

総会 12:00~12:30 報告事項・審議事項、満場一致で承認

懇親会 12:30~ 自己紹介等で多いに盛り上がりました。50名参加

会報30号4頁参照

3. 研究活動・向陵祭

令和元年5月26日(日)高尾山ハイキングその後和食レストランで懇親20名参加

令和元年9月14日(土)~15日(日)

向陵祭ホームカミングデー

4. ホームページの充実について

実務打合せ 年3回開催

5. 会報関係

令和元年11月1日(金)同窓会企画「都内に行く」の下見 4名参加

令和2年1月15日(水)編集会議

3名参加 於池袋サイゼリヤ

令和2年3月22日(日)校正会議

4名参加 於中野三河屋

令和2年4月コロナ禍で卒業生には間に合わず新入生に配布できるように同窓会会報「やよい」を搬入

6. 渉外関係

卒業式準備会→コロナ禍により中止

卒業予行会→コロナ禍により卒業生と教員のみ参加のため同窓会からの出席はなし

卒業式→コロナ禍により卒業生と教員のみ参加のため同窓会からの出席はなし

PTA主催の卒業式を祝う会→コロナ禍により中止

学校運営協議会→宮久保会長と田中正明相談役が参加 2回/年(他に1回書面にて回答)

7. 卒対関係

令和2年3月初旬 第69回卒業生312名(卒業生全員)に入会記念品として個人用特注印鑑を各組担任先生からお渡し頂けるよう母校に搬入

[決算報告] 別紙記載のとおり

令和元年度決算

| | 令和元年度決算 | 令和2年度予算 |
|------------|------------|------------|
| | 金額 | 金額 |
| 収入の部 | | |
| 入会金(@8000) | 1,912,000 | 2,000,000 |
| 年会費(含寄付金) | 804,000 | 800,000 |
| 総会懇親会費 | 106,000 | 100,000 |
| 全国大会費 | 57,000 | 100,000 |
| 諸会費 | 0 | 0 |
| 雑収入 | 0 | 0 |
| 前年度繰越金 | 3,353,002 | 3,258,997 |
| 収入合計 | ¥6,232,002 | ¥6,258,997 |
| 支出の部 | | |
| 高尾大会関係費 | 101,574 | 100,000 |
| 交通費 | 73,500 | 100,000 |
| 通信印刷費 | 66,795 | 200,000 |
| 会議費 | 122,275 | 150,000 |
| 総会懇親会費 | 192,000 | 200,000 |
| 権物関係費 | 8,326 | 50,000 |
| 慶弔費 | 2,646 | 100,000 |
| 研究活動費 | 108,199 | 100,000 |
| 振興助成費 | 40,000 | 100,000 |
| 会報関係費 | 1,850,000 | 1,850,000 |
| 渉外費 | 44,000 | 50,000 |
| 開発費 | 57,458 | 300,000 |
| 生徒激励費 | 0 | 100,000 |
| 卒対費 | 100,640 | 100,000 |
| 周年準備金 | 200,000 | 200,000 |
| 雑費 | 5,592 | 10,000 |
| 支出合計 | 2,973,005 | 3,710,000 |
| 次年度繰越金 | 3,258,997 | 2,548,997 |
| 総合計 | ¥6,232,002 | ¥6,258,997 |
| 周年準備金 | 400,000 | |

ゆうちょ銀行 10170-1750501 口座名 やよい会
通常貯金残高 ¥1,758,997 定期貯金残高 ¥1,500,000
上記の通り収支報告申し上げます。

令和2年4月26日

同窓会会長 宮久保 渡◎

会計 尾道 郁代◎ 笹山 幸子◎

監査の結果誤りのないことを認めます。

令和2年4月11日

監事 三田 昌男◎ 井上 芳子◎



